



土砂災害・水害!そのとき 「まだ大丈夫」は危険

近年、異常気象による土砂災害・水害が多く発生しています。大雨による被害を受けた各地では、「あっという間に水がきた」という声もありました。土砂災害や水害は気象情報や雨の降り方に注意し、早めに避難行動をとることが大切です。

土砂災害から身を守るために

大阪府では土砂災害のおそれがある区域を「土砂災害警戒区域」に指定しています。自分たちの住んでいる場所が土砂災害警戒区域かどうか、確認しておきましょう。

Webでもご覧いただけます



検索 大阪府土砂災害警戒区域

土砂災害! そのとき

防災情報を常にチェック! 「危ない」と感じたらすぐ逃げる

状況を確認

- テレビやインターネット、ラジオで情報を集める
- ※避難情報が出ている場合はすぐ逃げる
- ※絶対に危険な場所には行かないこと!

逃げるときは

- できるだけ遠くに逃げる
- 土石流の場合、流れる方向に対して直角に逃げる



土砂災害の前兆現象はありませんか?

避難情報が出ていなくても、危ないと感じたら早めに逃げましょう。

土石流

- 流水の急激な濁り
- 地鳴り
- 渓流水位の激減



地すべり

- 地鳴り、山鳴り
- 地面の振動



がけ崩れ

- 小石がぼろぼろ落下
- 亀裂の発生



早めの情報収集と 自分にあった避難行動を

状況を確認

- テレビやインターネット、ラジオで情報を集める
- ※避難情報が出ている場合はすぐに避難行動を!
- 雨の降り方に異常がないかを確認
- ※川や水路は危ないので、絶対に見に行かないこと!

逃げるときは

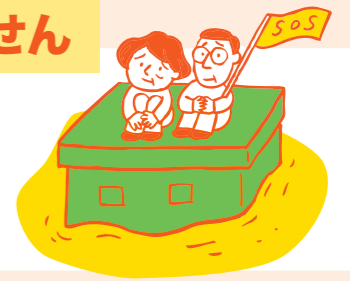
- 必ず運動靴で歩いて!
- ※長靴は水が入ると歩きにくいのでやめましょう
- 2人以上で逃げる
- 地下や川の近くには近づかない
- 棒などで地面をつつき、安全を確認しながら移動



避難行動は、避難所へ行くことだけではありません

ハザードマップで確認のうえ、避難可能な場所を複数決めておきましょう。

- 親戚や知り合いの家など安全な場所への移動
- 避難所への移動
- 近くの高い建物、自宅の2階以上など安全な場所への移動



避難情報を常に確認

市は、河川氾濫や土砂災害のおそれがあるときに以下の情報を発令します。なお、令和3年5月に内閣府の「避難情報に関するガイドライン」が公表されたことにより、避難情報の運用が変わりました。状況に応じて、自分の取るべき避難行動をすみやかに実行しましょう。

警戒レベル	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
避難情報	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保

避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。

危険な場所から全員避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。

警戒レベル4までに必ず避難!

※警戒レベル1（早期注意情報）と警戒レベル2（大雨注意報等）は気象庁が発表します。

安心+茨木市の防災

水害・土砂災害ハザードマップ

土砂災害や水害から命を守るためには、事前に自分の住んでいる場所の危険度を確認し、避難行動を考えておくことが一番大切です。市が発行している「水害・土砂災害ハザードマップ」で想定される災害の内容や、避難時の行動などを確認したら、避難行動のタイミングを整理した「マイ・タイムライン」を作成しましょう。

Webでもご覧いただけます 検索 茨木市水害・土砂災害ハザードマップ

